

3/29

子どもに良い食事とは？ ヘルシークッキング講座



野菜たっぷり料理を調理する参加者ら

子どもの食を通じた健康づくりを図るため3月29日、ヘルシークッキング講座が市保健センターで開催され、就学前の子どもの保護者9名が参加。
講座では、保健師と管理栄養士から食育の推進や栄養管理の重要性などの講義を受けた後、野菜を豊富に使ったビビンバやかぼちゃサラダの調理実習を実施。参加者らは子どもの肥満予防や対策などを学びました。

4/3

桜風景を見ながら 新四国八十八カ所霊場巡り

誰もが気軽に四国八十八カ所巡拝ができるよう約70年前に開創された「立江新四国八十八カ所霊場」で4月3日、同霊場巡り（たつえ歴史教室主催）が行われました。

参加者は、立江小学校を出発した後、笠松山から景岩寺に至る尾根沿い約2kmの山道を立江寺目指してウォーキング。ほころび始めた桜など初春の風景を満喫しながら霊場を巡っていました。



竹林の中にあるコースを歩く参加者ら

4/1

大漁旗はためく和田島港 和田島漁祭り



小松島市特産品の歌を披露する『ザ・クリフ』

毎年この季節に行われる和田島漁祭り（和田島漁協主催）が4月1日、和田島漁協・港周辺で開かれました。
会場では、ちりめん・鮮魚・ちくわ・かつ天などの販売、お魚重さ当てクイズ、ちりめんすまし汁の無料配布、人形浄瑠璃「傾城 阿波鳴門」や魚とふれあうことができる「タッチングプール」など多彩な催しが行われ、春休み期間中の開催とあって、大勢

の来場者で終日賑わいました。
また、ステージでは小松島市内のバンド「ザ・クリフ」が、ちりめんやかつ天などの小松島市特産品をテーマにした曲を披露し、会場を盛り上げていました。
和田島漁協では、この日行われた鮮魚販売の利益分を東日本大震災のチャリティー募金として寄付するほか、和田島婦人防火クラブも会場で義援金を募っていました。

4/16~18

手芸文化フェスティバル 華やかに開催

第17回手芸文化フェスティバル（小松島手芸文化協会主催）が4月16日から18日までの3日間、ミリカホールで開催。初日の16日には同実行委員会の代表である広野会長と稲田市長らによるテープカットが行われ、開幕を祝いました。

会場には、タイルアートや押花、パッチワーク、かざら工芸、くみひも、陶芸など各手芸教室に通う会員の皆さんや一般参加

者の作品をずらりと展示。ほかにも作品のチャリティーバザーやお茶席、手芸教室なども催され、手芸愛好家らが会場に詰め掛けていました。

また、手芸文化フェスティバル開催に先駆けて、広野会長が3月18日に市役所を訪れ、稲田市長に小松島市の手芸文化発展のため「ミリカホールの作品展示用パネル」を20枚寄付されました。



目録を稲田市長に手渡す広野会長（左）